

3. 周辺地域の現況

3-1 周辺地域の社会的状況

3-1-1 人口及び産業の状況

(1) 人口

周辺地域の人口の経年変化を図 3-1に示す。昭和 40 年以降は漸増傾向にあり、昭和 60 年には 8 万人を超えている。なお、周辺地域とは弥彦村、分水町、吉田町、寺泊町、中之島町、与板町を対象としている。

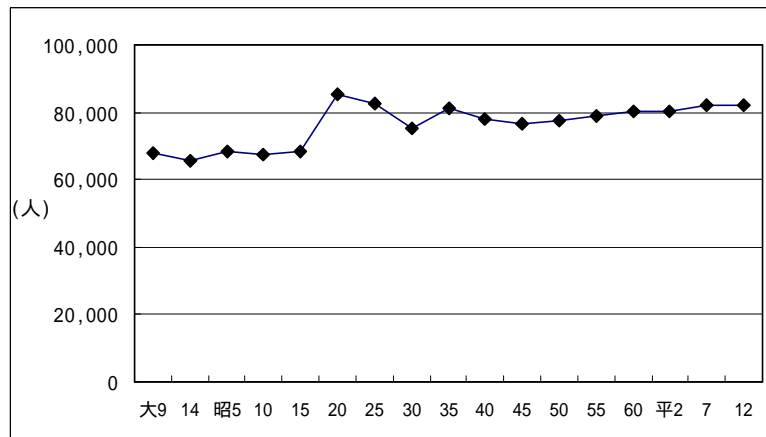


図 3-1 周辺地域の人口

(2) 産業

産業別事業所就業者別の割合を図 3-2に示す。「製造業」が 41.1%と最も多く、次いで「卸売り・小売、飲食店」24.0%、「サービス業」16.8%となっている。

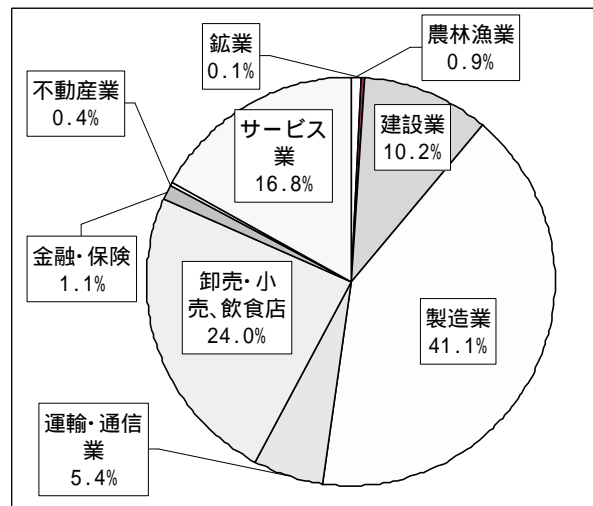


図 3-2 産業別事業所就業者数

3-1-2 土地利用の状況

(1) 土地利用の現況

周辺の地目別面積の割合を図 3-3に示す。「田」が 41.6%と最も多く、次いで「雑種地その他」30.3%、「山林」15.6%となっている。

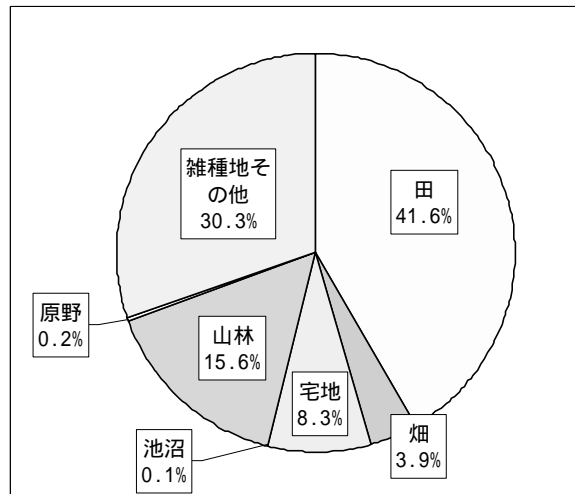


図 3-3 周辺地域地目別割合

(2) 土地利用の変遷

図 3-4 に空中写真による土地利用の変遷を示す。

堤内地の土地利用は、水田が多くを占めており、その状況に大きな変化はない。

河道内は、年により中州の形状が大きく変化している。河道内の過去からの変遷をみると、大河津分水路では河道の変化はほとんどみられず、堰及び床留の下流側で洗掘がみられる。堰上流水域（可動堰～与板橋）では、堰直上流の中州は砂利採取等により大きく変化しており、かつてあった裸地はみられなくなっている。与板橋より上流では河道内に中州や寄州（裸地）が多くみられ、洪水ごとに位置、形状は変化している。

図 3-4(1) 土地利用の変遷

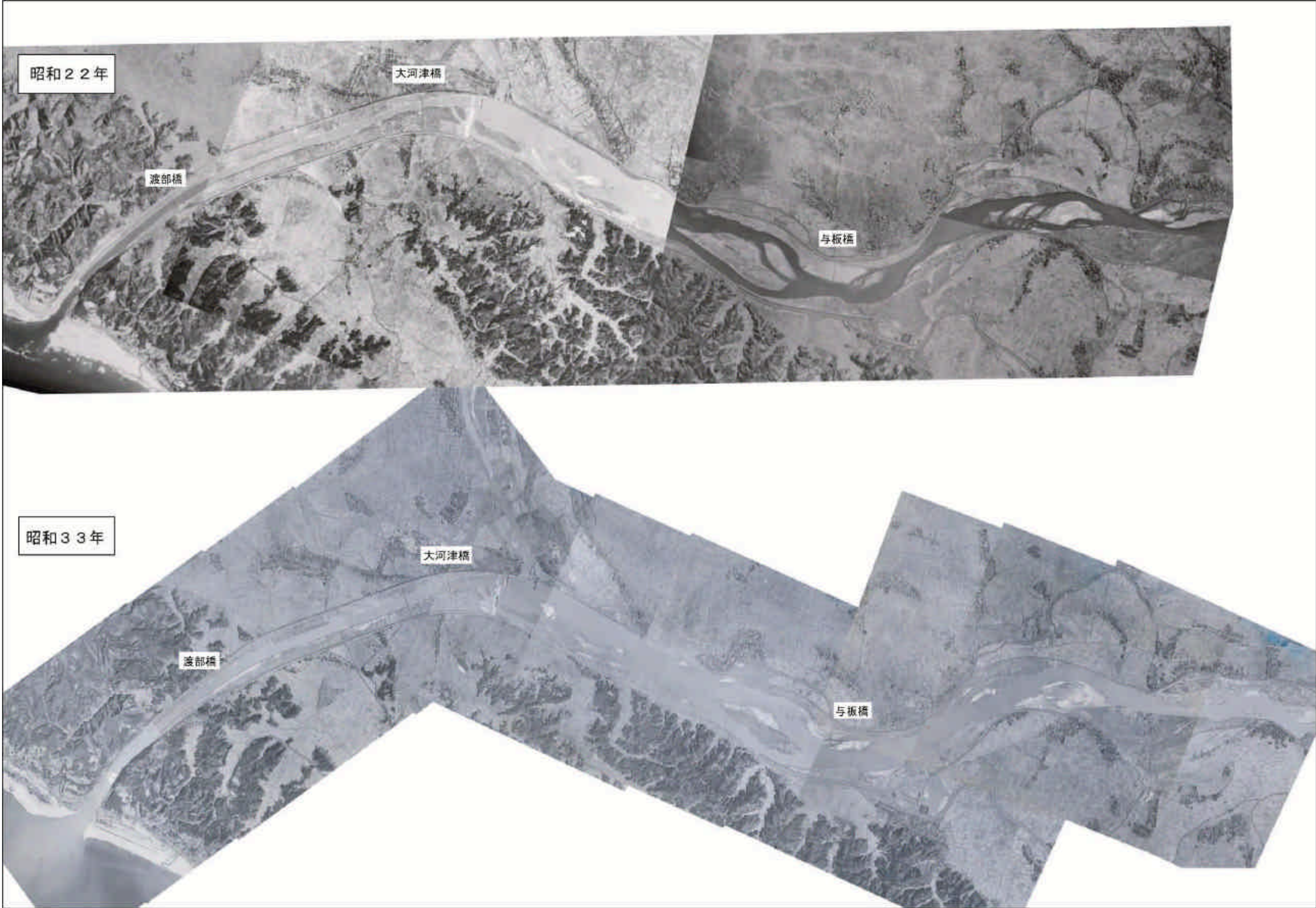


図 3-4(2) 土地利用の変遷

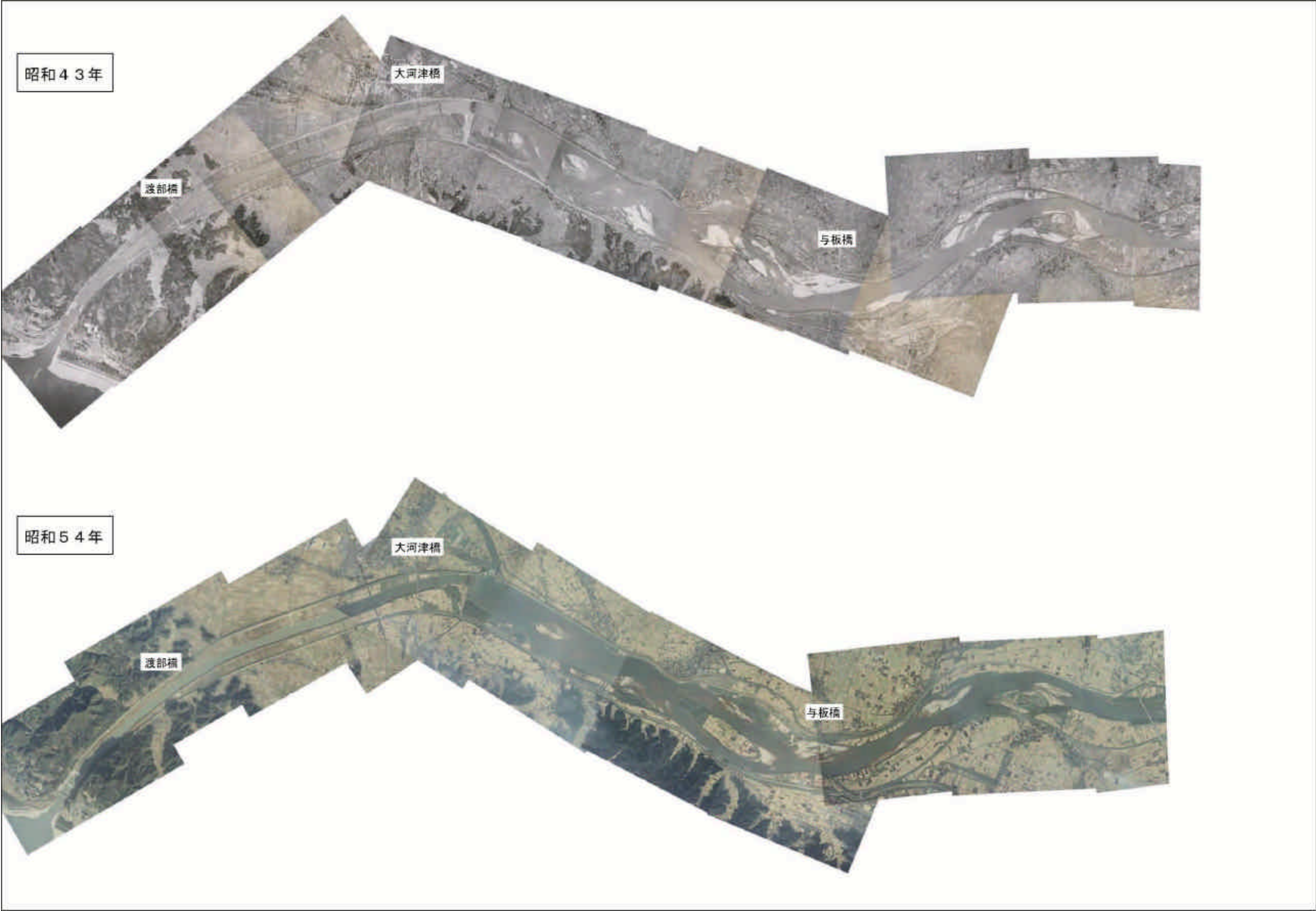


図 3-4(3) 土地利用の変遷

